

平成 28 年度第 10 回 犬山祭保存会理事・役員会議事録

日時	平成 29 年 4 月 15 日（土）19:00～21:00
場所	犬山市福社会館 303 会議室
出席者 (敬称略)	<p>【役員】会長（石田）、副会長（多和田・大澤）、会計（下山）、財務特別委員会委員長（澤野）、財務特別委員会副委員長（今井）、祭礼準備委員長（水田）、伝統文化副委員長（市橋・長井）、てこ委員長（長谷川）、てこ副委員長（浅野・吉田）、企画広報委員長代理（松田）、事務局長（溝口）、会計補佐（松岡）、企画広報委員（吉田、林）</p> <p>【理事】枝町（武藤）、魚屋町（小川）、下本町（柴田）、中本町（尾関）、熊野町（浅野）、新町（櫻井）、本町（兼松）、練屋町（前田）、鍛冶屋町（前刀）、名栗町（加藤）、寺内町（岩井）、余坂町（小島）、外町（多和田）、坂下大本町（長瀬）</p> <p>【犬山市】経済環境部（永井）、教育部（吉野）、観光交流課（中村・〔大谷〕・佐橋）、歴史まちづくり課（中村・市野・森）</p>
議事	<p>I. 報告事項</p> <p>①犬山祭事故報告 ②犬山祭祝儀報告及び協賛金中間決算 ③その他</p> <p>II. 議題</p> <p>①今年度祭礼総括 ②その他</p>
配布資料	1. 「平成 28 年度第 10 回理事・役員会」資料

議事内容	
I. 報告事項 ①犬山祭事故報告	
報告／検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 傷害 3 件及び賠償 1 件（→詳細は資料 p.3）。</li> <li>・ 保険対象外の休業補償に関する問合せがあった。保険の内容に関する事前説明が十分に理解されていない。</li> </ul>
決定事項	—
I. 報告事項 ②犬山祭祝儀報告及び協賛金中間決算	
報告／検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 祝儀 10 件（→資料 p.4 の一覧に末松良一氏を加えた件数）。</li> <li>・ 4/13 現在の協賛金中間決算（→資料 p.5）。収入は昨年を上回った。現物協賛者は、資料 p.5 の一覧に池田屋を加えたもの。</li> </ul>
決定事項	—
I. 報告事項 ③その他	
報告／検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 28 年度に修理をした名栗町車山の車輪に不具合が生じているため、4 月 16 日⑩に解体し、後日、高山にて点検・調整予定。</li> <li>・ 練屋町の格天井が車切の振動により落下し、からくり人形等がき損した。修理は保険適用外、国庫等補助も対象外。</li> <li>・ 新町理事の新任：白木氏が理事に就任。</li> <li>・ 本町理事の新任：兼松氏が理事に就任。</li> <li>・ 企画広報委員の新任：練屋町の吉田氏と御幸町の林氏が委員に就任。</li> <li>・ 市役所経済環境部の新任：永井氏が部長に、佐橋氏が観光交流課担当に就任。3 月まで観光交流課担当であった大谷氏は異動により退任。</li> </ul>

決定事項	—
II. 議題 ①今年度祭礼総括	
報告／検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試楽、本楽ともに車山の運行が予定より大幅に遅れた。</li> <li>・ 事故 3 件に加え、犯罪 1 件が報告されている。</li> <li>・ 車切の現場で若干の危険を感じる場面があった。</li> <li>・ 来年は部品の点検等を徹底したい。</li> <li>・ HP の FB 掲載に際して皆さんのいい笑顔が見られてよかった。協力に感謝する。</li> <li>・ 今年は警備体制が十分でよかった。</li> <li>・ 中本町と鍛冶屋町に跨る民間駐車場に出店した店の照明のエンジン音が大きく、囃子が聞こえないほどであった。次回も同様では困る。</li> <li>・ 梵天が電線に接触した。</li> <li>・ 一方通行を実施しても、中本町と鍛冶屋町に跨る民間駐車場を迂回路にする観客があり、それでは意味がない。</li> <li>・ ネットを見て遠方から訪れたという高齢の観光客と接する機会があった。ネットによる PR の影響は大きい。</li> <li>・ 城前から余坂まで計画スケジュールより 15 分余分にかかった。計画自体に無理があるのでは。</li> <li>・ 針綱神社駐車場にテント 2 張を用意する予定であったが、1 張しか用意できなかった。</li> <li>・ 神輿の巡行は約 1.5 時間遅れ、午後 8 時 30 分に神社に帰着した。</li> <li>・ その土地その土地の祭りは、良い点も悪い点も含め、いいものだと感じた。</li> <li>・ 名古屋銀行前の仮設トイレは所在がわかりづらい。周知方法に改善が必要。</li> <li>・ 草鞋には出来、不出来がある。</li> <li>・ 駅前のテントは、テント以外シート等もなく、休憩所としては不十分であった。</li> <li>・ 車山に載っている女子はトイレに時間がかかり、運行に支障が出る。 →置いていけばよい。次の休憩のタイミングで載せるべき。</li> <li>・ 経験の浅い手子を車輪際に配置してはいけない。今年の事故を今後に生かすべきである。</li> <li>・ 夜山曳出式でハレからの来訪団体の名が紹介されなかったことは残念。</li> <li>・ 祭り関係者のトイレ需要に対する協力を各戸に求めたい。</li> <li>・ 運行に関する連絡が 2 転 3 転するのは混乱のもとである。</li> <li>・ 本楽の日、傘鉦を片付けようとしたらなくなって大騒ぎした。神輿巡行の邪魔になったため神社が片付けたということが後からわかったが、連絡がほしかった。</li> <li>・ 加子母の獅子舞は余遊亭で休憩を取ったが、もう少し手厚い対応をしたほうがよいのでは。 →立ち寄る時間帯が予測できないため、今年程度の対応で良しとする。 →針綱神社にも獅子頭がある。将来的には犬山の住民で獅子舞ができるとよい。</li> <li>・ 13 輛目の車山は結果的に 1 時間強の遅れとなり、下山も手子も休憩なしであった。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2日間、一度も提灯を燃やさなかった（初めてのことである）。提灯を立てる部品に工夫を加えたことにより、外れも落ちもしなかった。困っている町があれば情報を提供する。</li> <li>・ 坂下大本町の練り物の運行を、他の2町の練り物と同様、本楽の日だけにできないか。 →むしろ他の2町も両日ともに運行してほしい。</li> <li>・ 1時間以上の遅れのために子どもたちが泣き出した。遅れの解消を望む。</li> <li>・ 車山周辺の雑踏警備の音が大きすぎて囃子の邪魔になっていないか、祭りの雰囲気壊していないか、意見を聞きたい。</li> <li>・ ユネスコ登録後、今年度初の祭りであり、多数の観客に楽しんでもらえた。</li> <li>・ 文化庁調査官が試楽祭を視察し、犬山祭の見どころの多さや民俗学的な価値を再認識された。</li> <li>・ なぜ1時間以上もの遅れが出たのか原因を考え、来年に向けての糧とするべき。</li> <li>・ 各町、残った蠟燭をどう処分しているか知りたい。 →夏祭りで使用している。 →車山蔵見学の子どもたちにあげると喜ばれる。 →活用法を今後検討したい。資金源になる可能性もある。</li> <li>・ 夜山の総揃えを見たことのない子ども世代に見せてあげたい。</li> <li>・ トイレがもう少し神社の近くにあるとよい。</li> <li>・ からくりの奉納が観客から見づらい。何か工夫ができないか。</li> <li>・ 運行の遅れの一原因である神前でのお祓いを3町ぐらいに留めてはどうか？</li> <li>・ 本楽のからくり奉納の際の上幕（青幕）を外すタイミング、鉢巻の脱着のタイミング、赤幕を上げるタイミング、どんでんの位置など、各町にこだわりがある。統一してはどうか？ 少なくとも基本ルールぐらいはあったほうがよいのでは。</li> <li>・ 先人が守ってくてくれたから今この祭りがある。懸命に祭りを執り行ってくれた皆さんに感謝する。若い世代が頑張ってくれたことも喜ばしい。</li> <li>・ 父や祖父が行った寄付の記録（墨書）を見て自分も、という気持ちが育つ。そのようにして知らず知らずのうちに祭りは持続可能な行事になっている。</li> <li>・ 保存会の理事は、町会長の意識ではなく祭りをまとめる役割であるという意識をもってほしい。保存会は祭りを通じて地域コミュニティを引っ張っていく。法人化の意義もそこにある。祭りとまちづくり、人材育成を平行で進めていくことが重要。</li> </ul>
決定事項	—
II. 議題 ②その他	
報告／検討内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国山・鉾・屋台保存連合会総会城端大会参加の件（資料 p.6） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マイクロバス手配済。5月4日④午前8時15分に文化史料館を出発。</li> <li>・ 参加は既に申込済のためキャンセルは不可。都合が悪くなった場合は必ず代理出席を。</li> </ul> </li> <li>○今後の教育活動・出展スケジュールについて（資料 p.7～8）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>北小の13町内車山蔵見学(→詳細は資料 p.8) : 車山を解体した町内も必ず何らかの対応を。</li> <li>平成29年度文化庁選定保存技術公開事業 : 玉屋庄兵衛の新作からくりをからくり文化振興部が紹介する。</li> <li>半田山車揃え(ふるさと交流ステージ)への出展 : 金襦袴の子どもによる囃子の演奏か、からくり実演を計画中。13町内から希望を募る。複数町内から希望があった場合は抽選、希望町内がなかった場合は保存会から個別に依頼予定。</li> </ul>
決定事項	—
懸案事項/その他補足	
—	

次回日時	未定
次回場所	犬山市福祉会館

★犬山祭保存会理事・役員会の会場の様子は Facebook でご覧いただくことができます★

記録日	H29/4/18
記録者	市野